

■コメント

1. 伝染性紅斑

定点当たり1.00人と、前週と比べてやや減少しましたが、例年同時期と比べて多い状況が続いています。また年齢別では、5歳前後の患者数が多くなっています。手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。

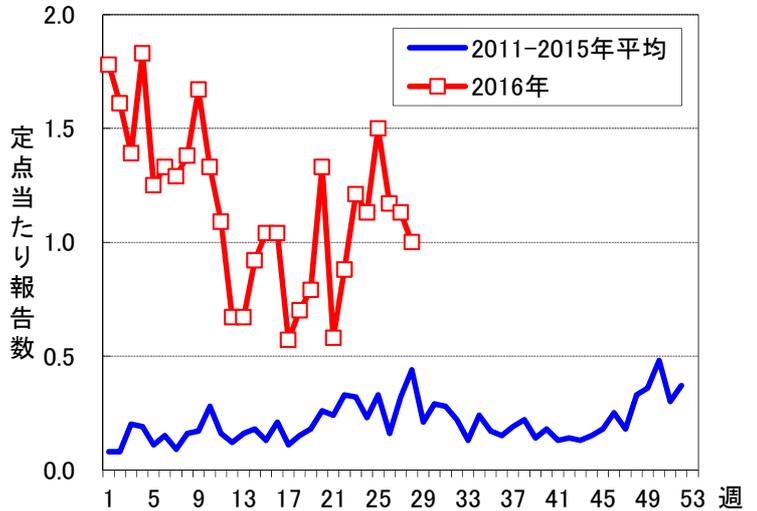
2. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は6件となりました。引き続き、手洗いの励行、食品の十分な加熱など感染予防を心がけましょう。

3. 後天性免疫不全症候群

2件の報告があり、今年の累計は11件となりました。

伝染性紅斑の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	1	0.03	-		小児科	流行性耳下腺炎	15	0.68	0.76	⇒
小児科	咽頭結膜熱	26	1.18	0.64	⇒	眼科	RSウイルス感染症	13	0.59	0.05	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	2.05	1.73	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	69	3.14	4.52	⇒		流行性角結膜炎	8	1.00	0.48	
	水痘	15	0.68	0.74	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	8	0.36	6.43			無菌性髄膜炎	1	0.14	0.20	
	伝染性紅斑	22	1.00	0.44	⇒		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.23	
	突発性発しん	14	0.64	0.50			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	
	百日咳	2	0.09	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-		
	ヘルパンギーナ	24	1.09	3.04	⇒						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	84	女性(60歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	女性(40歳代)・O157
5	後天性免疫不全症候群	2	11	男性(20歳代)・感染者・1人、男性(50歳代)・感染者・1人
5	梅毒	1	11	男性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
			第24週	-	30	63	144	15	10	27	12	-	56	23	4	-	6	-	-	-	8	-	3	-
第25週	-	22	55	152	10	8	36	12	1	63	18	9	-	2	-	-	-	2	-	3	-	3		
第26週	-	25	57	120	15	7	28	10	1	57	14	1	-	4	-	-	-	5	-	1	-	1		
第27週	-	22	59	109	17	13	27	13	4	38	15	7	1	5	-	-	-	2	-	-	-	-		
第28週	1	26	45	69	15	8	22	14	2	24	15	13	-	8	-	-	1	2	-	-	-	-		
定点当たり	広島市	第24週	-	1.25	2.63	6.00	0.63	0.42	1.13	0.50	-	2.33	0.96	0.17	-	0.86	-	-	1.14	-	0.43	-	0.43	
		第25週	-	0.92	2.29	6.33	0.42	0.33	1.50	0.50	0.04	2.63	0.75	0.38	-	0.25	-	-	0.29	-	0.43	-	0.43	
		第26週	-	1.04	2.38	5.00	0.63	0.29	1.17	0.42	0.04	2.38	0.58	0.04	-	0.50	-	-	0.71	-	0.14	-	0.14	
		第27週	-	0.92	2.46	4.54	0.71	0.54	1.13	0.54	0.17	1.58	0.63	0.29	0.13	0.63	-	-	0.29	-	-	-	-	-
		第28週	0.03	1.18	2.05	3.14	0.68	0.36	1.00	0.64	0.09	1.09	0.68	0.59	-	1.00	-	0.14	0.29	-	-	-	-	-
全国	第26週	0.03	0.69	2.68	4.98	0.45	0.48	0.41	0.60	0.02	2.26	1.06	0.12	0.02	0.75	0.02	0.06	0.64	0.01	0.07	0.01	0.07		
	第27週	0.03	0.61	2.54	4.55	0.38	0.64	0.40	0.55	0.03	3.14	1.21	0.14	0.02	0.85	0.02	0.07	0.77	0.02	0.07	0.02	0.07		

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(39.1) 上気道炎 閉鼻 哺乳低下	0	男	2016/06/04	咽頭拭い液 糞便	ハレコウイルス3型 ライノウイルス
その他の発疹性疾患	発熱(38.2) 紅斑	1	女	2016/05/30	咽頭拭い液	ハレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】蚊が媒介する感染症(デング熱、ジカウイルス感染症等)に注意しましょう。

- アジア、アフリカ、中南米等の熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症(デング熱、ジカウイルス感染症等)が流行しており、全国では流行地域から帰国後に国内で発症する症例(輸入症例)が報告されています。
- 流行地域を訪問する際には、昆虫忌避剤(虫除けスプレー等)の使用、長袖・長ズボンを着用して肌を露出させないなど、蚊に刺されないよう対策をとることが重要です。
- 流行地域から帰国後に、発熱、頭痛、発しん等の症状が出た場合は、蚊に刺されないようにして、速やかに医療機関を受診してください。また、医療機関へは渡航歴を伝えてください。
- 妊婦及び妊娠の可能性のある人の流行地への渡航は控えるとともに、海外へ渡航される際には、検疫所等のホームページで渡航先の感染症の流行状況を確認してください。

FORTH/厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)

外務省海外安全ホームページ(<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第28週(7月11日~7月17日)